

**説明動画「南砺市のよさを生かした
中学校部活動を目指して」
アンケート結果**

【回答日】

令和3年5月27日（木）

～

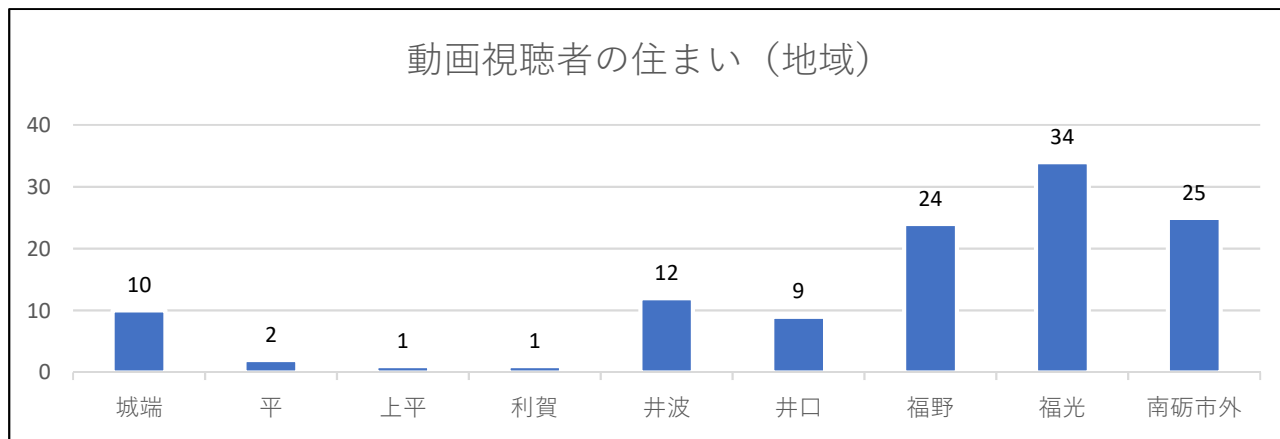
令和3年6月27日（日）

回答数

118名

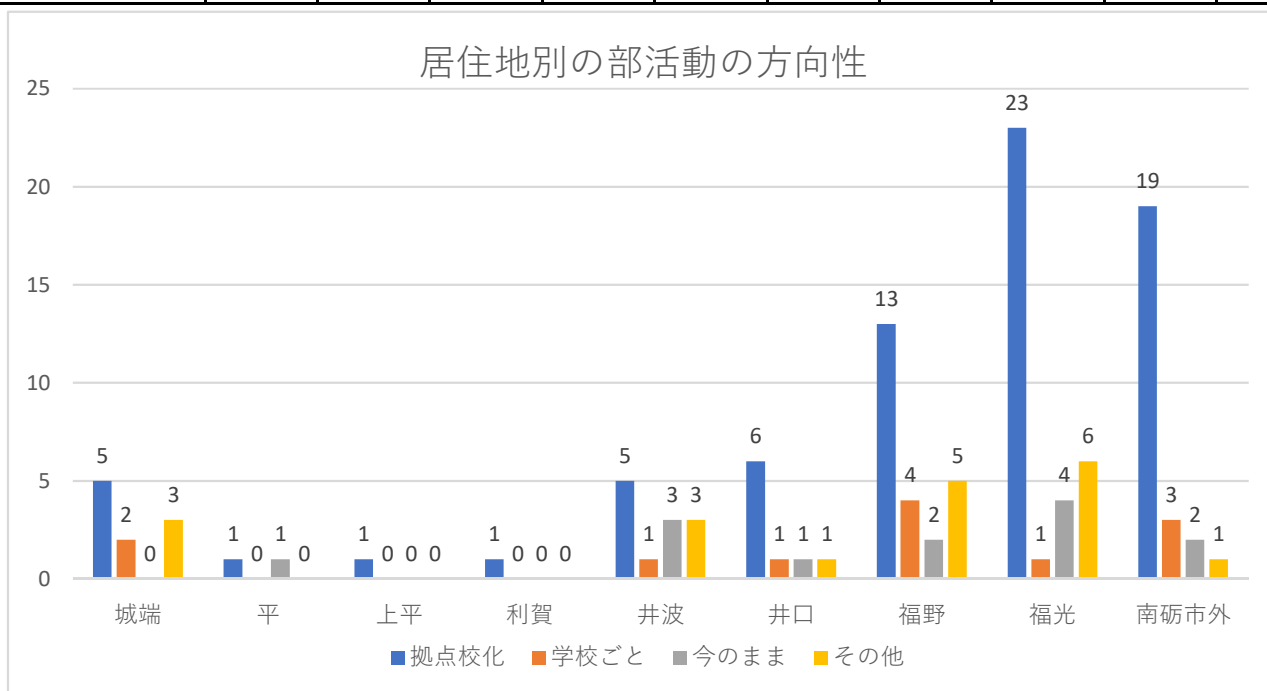
1-(1) 回答された方の住まい（地域）

地域	城端	平	上平	利賀	井波	井口	福野	福光	南砺市外	計
地域別参加者数	10	2	1	1	12	9	24	34	25	118



1-(2) 回答された方の住まい別の部活動の方向性

方向性 \ 地域	城端	平	上平	利賀	井波	井口	福野	福光	南砺市外	計
拠点校化	5	1	1	1	5	6	13	23	19	74
学校ごと	2	0	0	0	1	1	4	1	3	12
今のまま	0	1	0	0	3	1	2	4	2	13
その他	3	0	0	0	3	1	5	6	1	19
合計	10	2	1	1	12	9	24	34	25	118



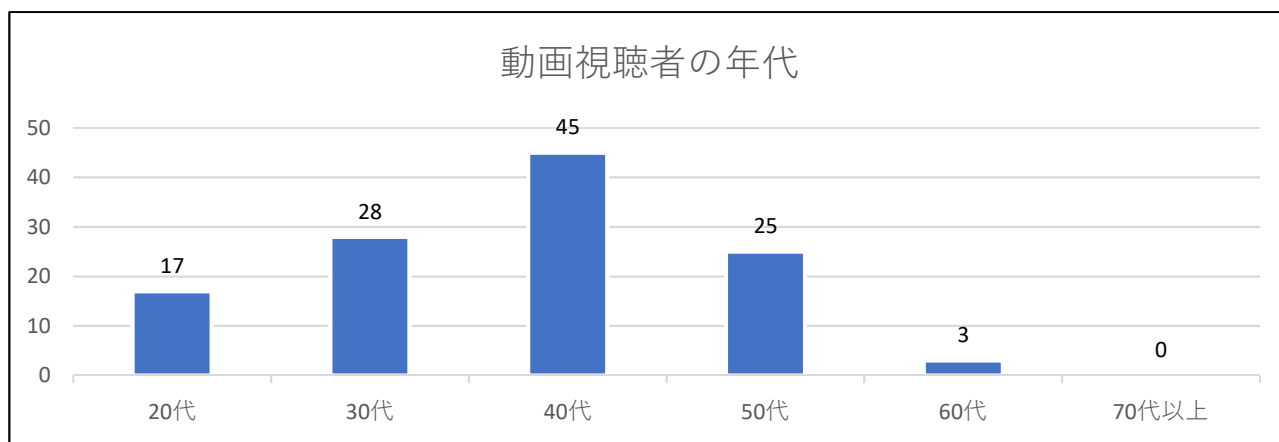
全体の62.7%（74/118名）の方が、「拠点校化を進める」と回答している。

「その他」が19名（16.1%）、「今のまま残し、自然に減るのを待つ」が13名（11.0%）、「学校ごとに地域移行して部活動数を減らす」が12名（10.2%）と拮抗している。

全体の約9割に当たる106名の方は、現状の部活動のあり方に対して課題を感じており、何らかの改革が必要であると捉えていることがうかがえる。

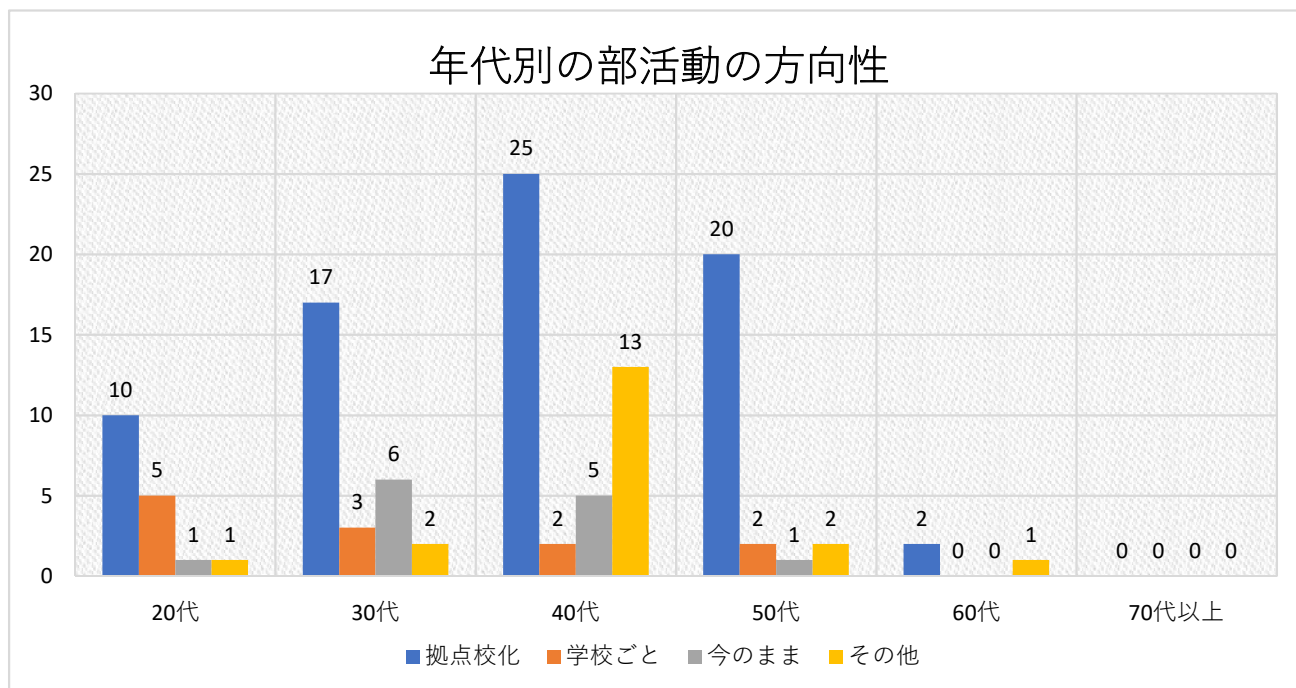
2-(1) 回答された方の年代

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
年代別参加者数	17	28	45	25	3	0	118



2-(2) 回答された方の年代別の部活動の方向性

方向性 \ 年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
拠点校化	10	17	25	20	2	0	74
学校ごと	5	3	2	2	0	0	12
今のまま	1	6	5	1	0	0	13
その他	1	2	13	2	1	0	19
合計	17	28	45	25	3	0	118

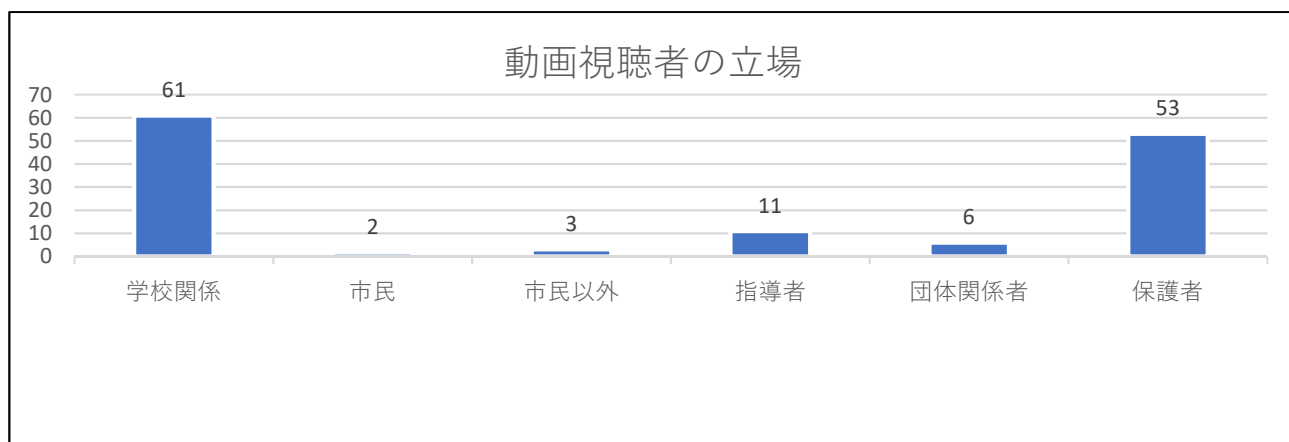


どの年代においても、「拠点校化を進める」と回答している方が一番多い。
一方で、40代では、13人（28.9%）の方が、「その他」と回答しており、「拠点校化」に課題を感じている方が一定程度いることがうかがえる。

3-(1) 回答された方の立場

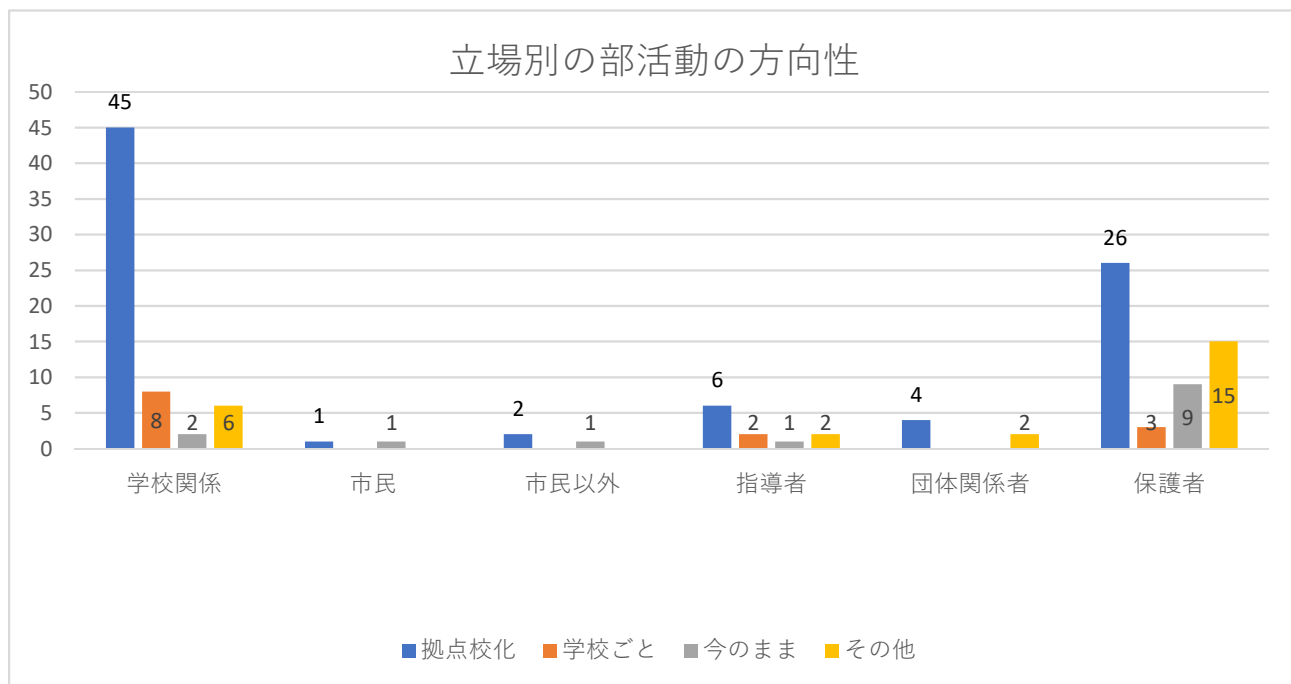
※複数回答者14名

立場	学校関係	市民	市民以外	指導者	団体関係者	保護者	計
立場別参加者数	61	2	3	11	6	53	136



3-(2) 回答された方の立場別の部活動の方向性

方向性 \ 立場	学校関係	市民	市民以外	指導者	団体関係者	保護者	計
拠点校化	45	1	2	6	4	26	84
学校ごと	8			2		3	13
今のまま	2	1	1	1		9	14
その他	6			2	2	15	25
合計	61	2	3	11	6	53	136



学校関係者では、「拠点校化を進める」が多い。現状の部活動の課題を大いに感じていることがうかがえる。保護者では、「拠点校化を進める」が一番多い（49.1%）が、約3割（28.3%）に当たる15名が「その他」と回答している。「拠点校化」について懸念を感じている方が一定程度いることがうかがえる。なお、立場について複数の選択肢を回答された方が14名おり、それぞれの立場に計上したため、回答者数とは差異がある。

動画視聴者アンケートコメント詳細

【意見】

① 部活動の目的に関すること

<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が中学新一年生です。現在、部活が短縮、その補填として週2、3回程度通常の部活が終わってから外部で、場所を変えて指導していただいています。大変有難いのですが、参加登録は希望者だけなので、同級生(子供を含めて二人)は他の競技をしているため部活後帰宅、うちの子供は先輩と一緒に部活後、次の場所へは行きにくい様で、残念なことにまだ春から数回しか参加していません。部活を一旦止めているので気持ちが途切れてしまうようです。本人の問題なのかも知れませんが、 家族の中には、「中学校で強制的に部活に入る必要はない」と言う考えもあります。私の考えとしては部活、クラブの様なものは強制的にあって欲しいです。 ただ、 ○現在やっている競技の部活が無く、他のクラブへ所属している子は無理に入らなくても良い (やりたくないのに無理に入っている、たまにしか来ない、競技に対しての温度差がある、本来所属して頑張っている競技に集中できる) ○完全に外部講師に任せる 等々 難しい問題がたくさんありますが、子供たちの為により良い方向へ進むことを願っています。 	(40代・保護者、 学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ そもそも全生徒が部活動に入らなければならないのか？ 	(30代・指導者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ福光中学だけ部活動時間が少ないのでしょうか?? 何かのモデル校なのでしょう? 福野中学、吉江中学と比べ平日活動時間が少ない、日曜日は休部、夜間練習がない、違いがありすぎです。 上手になりたい、試合で勝ちたいという気持ちは他校の子供と同じように充分あるのに、同じ南砺市内で大きな格差を感じます。 子供も他校との大きな格差を感じています。 早急に改善を強く求めます。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動を廃止し、放課後は自主的に活動する。スポーツやその他習い事等、家庭に任せる。 	(40代・保護者、 学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生の子供が二人います。二人共、小学生の時にしていた運動部活がなく、別の部活動をしています。中1は文化部と他スポーツクラブを両方活動しています。出来れば地区選等の公式試合に参加したいのですが、中文連と中体連の両方に入ることが出来ませんでした。中体連に入る為には顧問の先生が必要で対応出来ないという学校の答えでした。南砺市の他の学校では試合出場可能と言われた所もありますが…学校により対応が違うのも本人には諦め感が残りました。 そこで、学校に無い部活動でも、試合に出れるように登録の調整や窓口となる多様な部活担当顧問の先生がいて小学生から続けてきた活動を支援して頂けたら嬉しいです。練習や試合の付添いはスポーツクラブや親で出来るので、毎日の負担をおかけする事は少ないと思うのですが。 子供にとって部活を決めるのは人生最初の重要な選択です。転校も考えましたし、自分の実力と転校、交友関係、様々なリスクと希望を比較して悩みに悩み決めました。今の現状の中で少しでも子供の大好きな活動が出来るように、また中学から初心者で新たなスポーツに挑戦したいと思っている子供が、スポ小経験者との格差に辛い思いをしないように、初心者サポートも必要だと考えます。スポーツはいつからでも始められる、子供の可能性を大人の限定されたルールで導いてはいけないと思います。柔軟な対応をお願いしたいです。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「部活」とは違う選択肢がこれからの南砺市には必要だと思います。今こそ「小中学生も気軽に参加できる部活以外の課外活動の場」について議論すべき時期にあると考えます。スポーツクラブやカルチャースクールのような世代を超えて交流する場について議論すること。そして「地域の社会的活動」として広く捉えることで、部活動という狭義に縛られないあり方がこれからの南砺市に必要なようになってくるものと考えます。 	(30代・保護者)

② 中学校のあり方に関すること

<ul style="list-style-type: none"> ・ 吉江中学、福光中学の統合 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の統合を進める 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今ある学校の収容人員と通学距離および子供の選択肢を多く残す意味合いで、福野・井波で統合、福光・吉江・城端・井口で統合の2校に統合(平、利賀は除く)して、各々の学校で、部活動を検討すべき。 1学年8クラスの大規模校を想定するから、学校建設や活動スペースの問題で統合に時間がかかるのであって、今ある学校を利用すれば、数年での統合も可能であり、今の子どもも未来の子どもも、ある程度に納得できる形は作れると思う。 県内の大規模高校である富山第一高校でさえ、全てのスポーツ部・文化部があるわけではなく、ある程度は制限されてしまう現状であり、今後に残す部活動は、統合という枠組みを作ったうえで、各学校にまかせないと、合併16年を経た現状でさえ、旧町村の枠組みから抜け出せない南砺市なのに、人口が3万人に減ってしまって旧町村の枠組みでしか考えられない大人の感覚は、旧町村を知らない若者の考え方とは、かなりズレがあるように思われる。 『子供を育てる』ことに重点を置くなら、学校は基本的な勉強と柔軟な心を育てる場所であると考えており、成長するにしたがって、子供の環境を少しずつ変化させながら成長させていきたい思いがあり、今、進められている義務教育学校化は、小中学校の9年間は、同じ仲間生活する方向性である。平や利賀のように距離的にも統合が難しい地域であれば、学校存続として必要だと思うし、利賀のように県外からの子どもも積極的に受け入れる環境であれば、『考え方の違う他者も受け入れる』という心も育てられるが、平野部では、環境の変化を体験させないことによって『中一ギャップ』の解消を目指せるが、逆に高校進学時に、全く経験したことのない大きな環境変化が、いきなり子供に襲ってくるので、今以上に多くの子どもが『高一クライシス』になる懸念が想定される。 大人であっても、定期的な社内での異動による勤務場所の変更は、ストレスがある。会社では、環境変化を子供の時から経験している社員と環境変化の経験が乏しい社員では、環境変化を容易に受け入れる社員と一緒に仕事をした方が、『一緒に頑張ろうという気になれる』が、環境変化の経験の乏しい社員には、『環境変化を受け入れるように指導すること』から教えないといけないので大変である。南砺市の子ども達には、そのような子どもに育ててほしくないの、将来に向けても、そのような子どもを南砺市で育ててほしい。 	(50代・指導者、 団体関係者、 保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学を統合すると思います。 まずなぜ出来ないかを教えてください。 また10年～15年の準備期間が必要な理由も具体的に教えてください。そして、なぜ10年前に話をしていなかったのでしょうか？ もし統合すると、部活動の時間に移動する事なく多くの部活から選択でき、活動時間も終えたら19時まで家に帰る事ができると思います。 そして部活が終わってからのご飯が食べれます。 もし中途半端な時間に活動があると、食べてすぐ運動、または寝る前に食事となり、健康によくないと思います。そして、家族で揃って食事ができる機会は今のまま残ります。 そして、同級生の人数が増える事で、いろんな友達もでき、その先の大学、そして社会人になる準備、つまり、段階的に人と関わる人数を増やす事につながると思います。 先生の人数の調整が可能になるのも利点かと思えます。現在の全ての先生を1校に集めるのは人数が増えすぎるので、都合の悪い時に休めるような人数配置にしたなら、先生方の勤務にやさしいのではないかと考えます。例えば1クラスに対して、2人担任制にしてもいいと思います。そうすれば上記の休みやすい環境になるのではないのでしょうか？ 体育大会等の学校行事が盛大になると考えます。 団の色も増えるので、見ている方ももちろん生徒も楽しくできると思います。 拠点校にしたとして、仮に兄弟が違う中学校に行った場合の学校行事はどうしたらいいのか困惑すると思います。別々に行かず事がない前提の話であれば別ですが、現状の話だと可能に受け取れます。よって授業参観は日をずらして頂く必要性、学校行事(体育大会や学習発表会や卒業式等)も同じ事が言えると思います。まだ先の話かと思えますが、気になる方もいるので、この部分は説明頂きたいです。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ この人口規模で8校を存続する、そんな選択肢はあり得ないと思います。 	(40代・保護者、 学校関係者)

③ 拠点校化の方法に関すること

<ul style="list-style-type: none"> 拠点校化を進める過程の中で、学校の教育課程において部活動は「MUST」ではないことを確認し、運動系は地域のクラブチーム等に、文化系は地域の文化団体やサークル等にゆだね、地域のスポーツや文化の後継者を育てるという視点で運営するようにしたらよいと思う。 	(50代・学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> これからますます少子化になるので、拠点校化案は良いと思います。子供が福光プールの育成チームに所属していますが、吉江中学校と福光中学校では、吉江中学校は育成を部活動として認めているようですが、福光中学校は認めてないそうで、なぜ違うのか疑問でした。福光中学校も部活動として認めてもらえたら良いなと思います。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 関心があったのですが説明会に参加出来ず、今回動画が見られて良かったです。現状の課題や未来予想などが大変分かりやすくまとめられており、今まで「なんでこうしないんだろう」と思っていたことにも納得がきました。ありがとうございました。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 南砺市全体で多様な部活動を選べる工夫をもっとしてほしい。送迎してでもいいから自分のやりたいことをやってほしい。やりたいことができないのはかわいそう。選択肢がないのが何より悲しい。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 基本的には賛成です。自分の地区の中学校が、どの部活になるのか気になりました。部活視点ではいいと思いますが、スポーツ視点でみると、クラブチームを作っている選手が集まるような環境があってもいいかと思いました。クラブチームの南砺市での活動を、本委員会が応援してもらえるような動きがあると嬉しいです。(具体的にアイデアがあるわけではありません) 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 人口が減っていくのはしょうがないことですが、様々な部活動を経験することなく大人になっていくことがちょっと残念です。また先生方の負担を考えると、やりたい子は時間外に地域内外のクラブチームへの加入などを積極的に進めた方がよいのではないのでしょうか。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 小学校から継続しなければならぬ、といったふうに捉えられる。子供の意思を尊重したいため、中学校から始めたいと思った場合でも、部活動(学校)の選択が出来るようにしてほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 部活動に思い入れのない立場からですが。部活動の数を学校で減らせないままずるずるとここまで来た、仕方なく市教委で音頭をとって、という印象。人数が少ない部活動は消滅するのは仕方ないし、それに対する救済策もありむしろ手厚く思える。 	(40代・学校関係者、南砺市民以外)
<ul style="list-style-type: none"> 富山テレビのニュース、市議会のYouTubeを見ました。現状では、地域内の中学校へ進学することが原則であり、地域外の中学校へ進学するのは、特別な思いがあつてのことなので、通学は自己責任で、保護者の送迎や公共交通で対応すべきだと思う。以前、平から富山大学附属中学校へ通学していた生徒がいたが、保護者が最寄りのバス停まで送迎していた。もし、地域外の中学校へのスクールバスを運行すれば、いずれ、少人数の地域の子どもたちは、部活動に関係なく全員がスクールバスで地域外の中学校へ通学すれば良いとなり、地域内の中学校の存続に影響をあたえるのではないかと心配になる。 	(50代・上記以外の南砺市民)
<ul style="list-style-type: none"> 送迎が出来ないので、学校は変えられない。 	(40代・保護者)

<ul style="list-style-type: none"> 部活動で入学する学校を決める、というのに反対です。小学校6年生にとって友達関係というのはすごく大事で、いくら自分がこのスポーツしてみたいな、と思っても友達が行かないから地元の中学校に入学しよう、という考えてしまったり、また、その逆も大いにあり得ると思います。自分の意見をしっかり持っていたとしても、友達のひと声でかわってしまったりする歳だと思います。もし、自分の地域にしたい部活が無くて、友達と離れるのを我慢して違う地域の中学へ通ったとして、でも、やっぱりやってみて途中で部活の雰囲気馴染めないとか、違うスポーツがしたくなった場合はどうすればいいのですかね…？そこで、また中学校変わることになるのでしょうか？それならば、放課後に皆がやりたい部活動がある中学校へ移動すればいいのではないのでしょうか？予算や安全の面でバスが出せない、というのもよくわかりません。もし、中学校を部活で選らんだとしても、朝、帰りの送迎のバスも出ないのですよね…。各家庭で送迎するということですよ…。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 送迎の問題や指導者の問題が解決しているのでしょうか？ 	(30代・南砺市民以外)
<ul style="list-style-type: none"> 今のままでは無理だと思う。保護者の立場では、平日の送迎はまず、無理。指導者にしても平日の練習時間までに戻ってくる事は無理。市か県で職場への対策、対応を決めてもらわないと、出来ない。 	(40代・保護者、指導者)
<ul style="list-style-type: none"> 全体一気に考えるのではなく、各種目ごとに市内の関係者を集めて方策を話し合う場を作ってほしい。個人競技と団体競技が同じ土俵で判断されるのは非常に安易だと思う。指導は各地域と連携しながら行い、人数が足りないところ等は合同チームを作ればよい。 	(30代・指導者)
<ul style="list-style-type: none"> 特認就学が可能になるのは、子供たちに選択肢が広がり、保護者と相談して区域外に通学する(保護者送迎・自転車通学等)ことを選ぶことができるのでよいと思います。拠点校化にしまうと、スクールバスが出ないのであれば、多くの子供が通学不可能・その拠点校への移動不可能になり、結局部活動の目指すものを達成できないのではないのでしょうか。課題が多すぎて大変なことと思いますが、子供たちのためにもよろしく願いいたします。 	(50代・学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 学校は、クラブ活動として、子供達の好きな事をさせてあげる。さらに目標がある子には一旦帰宅した後、地域のスポーツの団体でさせてあげるのはどうか？ 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 拠点校化案へ移行すると、子供がやりたいと言う部活動をする場合、校区外の学校への送り迎えの点で叶えられない場合がある。校区外へ入学し、希望の部活へ入ったが、気持ちの変化により辞めたい、もしくは別の部活に興味が出た場合、転校となりかねないような気がするので、あまり拠点校化案にはあまり賛成出来ない。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 部活の中心校の設定。部活ごとに学校を設定する。ただし送迎等は学校が設定する。親の負担が増えるのはおかしい。スクールバス等を活用して子供達が移動しやすい様考えて欲しい。昔と違い親の送迎の負担が多い。子供を甘やかせ過ぎ。 	(60代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 動画では「南砺市」今後…南砺市全体の意向という内容でしたが、現在違いがあり過ぎて内容がしっくりきませんでした。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 拠点化案はいいのですが、特任就学だけではなく近い学校同士ならスクールバス等活用して隣のがっこうの部活にも参加出来る様にして欲しいです 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 1:住む場所で通う中学校が決まり、取り組むスポーツが決まる… 2:取り組みたいスポーツに合わせて、小学校の友達と離れて転校する… <p>どちらも現在の我が家では考えられません。将来的に、1の流れになっていくのかな、と思います。</p> <p>取り組みたい活動を自分たちで選択できるようになるために、部活動廃止が良いと考えてます。</p>	(40代・保護者、学校関係者)

<ul style="list-style-type: none"> 平中学校のように、シーズン制にするのがよいのではないかと思います。1年間を3つ(2つや4つでもよい)の期間に分け、その都度部員を募集します。地区選を、現在はすべての競技が6月の同じ日に行っていますが、たとえば3月にバスケ、卓球、バドミントンなど、9月は野球、サッカー、陸上、テニスなど、12月は柔道、バレーボール、吹奏楽など、を行います。その地区選に向けて、各校で部員を募集するのです。そうすれば、一度に行う競技数が減り、選択肢が少なくなるので、生徒数減に対応できると思います。また、生徒が部活のために転校する必要もなくなるのではないかと思います。中体連とのからみがあるので、南砺市だけで改変は大変だとは思いますが、生徒数減は全国的な問題なので、南砺市が全国に向けて声をあげることは大切だと思います。 	(50代・学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 「拠点化」と「部活動の整理」、「教員の負担軽減」は賛成です。ですが現状の案だとその負担を他に回しているだけのように思えます。しいて言えば引き算をしているつもりなのに引いた分を別のところで足し算しているように見えます。しかも足している部分が多いので結局負担を回しているように見えるのだと思います。もう一度言いますが「拠点化」と「部活動の整理」、「教員の負担軽減」は賛成です。その仕方の問題があるのです。そこをブラッシュアップせずに協議したという既成事実だけを作り、議論も戦わせず、強引に進めていこうという姿勢が見えることに腹が立ちます。計画は確定事項ではありません。委員会役員の真摯な対応を切に願うとともに、担当職員の方々の頑張りに期待しています。 	(30代・指導者、団体関係者、学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 拠点校化だけを重視すると強い部活しか残らずやスポ小をやっている子しか運動部を選べなくなる。部活動は子供達中心に行うものだと思うので、拠点校化の重点競技の他にも人数にあわせてある程度の選択肢を残してほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 「部活動の拠点化」というようにスポーツをする「場所」を固定してしまう考えは浅はかに思えます。特に今の外部コーチの方々は「自分の地域の部活動だから教える」という考えの人が大半だと思います。私もそうです。それが隣の町であればギリギリ教えるとは思いますが、福野のコーチが城端まで来て指導するようなことはないと思います。ましてやエキスパートコーチの指導料は無いようなものなので。さらにエキスパートコーチの実状を調査すればわかりますが、大半のコーチがほぼ来ていない、もしくは既定の時間しか来ない、と言う状況です。既定の時間の指導なんかほぼ役に立たないです。子供からの信頼も得られず「たまに来るうるさい大人」「たまに来て練習をきつくする大人」という認識の方が大きいと思います。なのでもっとコーチに寄せた提案にした方がよいと思います。個人的には拠点を作って固定させるのではなく、むしろ作った拠点を移動させていった方がよいと思います。例えば、月曜日は城端中学校、火曜日は福光吉江、と言うように部活動をする学校を持ち回りにすればよいと思います。その場合、城端の生徒は月曜日に全員の部活動に参加をします。もちろん他校の生徒も参加してよいです。他校の生徒は参加不参加を決めます。そして南砺市でその日部活動をしているのは1校だけという事です。つまり「部活動の拠点校が固定ではなく持ち回りになる」という事です。下記に提案をまとめます。 「拠点校の持ち回り案」について ①曜日ごとに拠点を変えていく 月→城端中学校 火→福光中学校／吉江中学校 水→井波中学校／つばき学舎 木→福野中学校 金→平中学校／利賀中学校 土→合同練習会 日→休日 ②自分のいる地域以外の部活動は参加不参加を選べれる ③極端に言えばコーチも顧問も生徒も部活動は最小で週2回の参加 ④部活動に力を入れたい場合は最大で週6日 ⑤学習を優先したい場合は最大で週5日の学習時間を得られる 「例 ～城端中学校を例にした場合～」 ・月曜日は南砺市内で城端中学校だけが全部活動を行います。 ・月曜日の拠点は城端中学校なので他校の生徒で参加したい子は城端中学校に集まります。 ・他校の生徒で参加しない生徒は家に帰って学習時間を取れます ・土曜日など週に一回はスポーツ施設などで全学校合同の練習会をします ・城端中学校の生徒で部活動に力を入れない生徒は月曜日以外は合同練習以外参加しません。その分、他のことに時間を使うことができます。 	(30代・指導者、団体関係者、学校関係者)

※以下提案の詳細

「部活動時間について」

- ・基本17時からの部活動 部活動の時間は夏17時～18時半の1.5時間、冬17時～18時の1時間
- ・拠点校の生徒は16時～17時を学習時間とする 他校の生徒は16時～17時を移動時間とする
- ・(できれば)拠点校以外の各校で1～2便バスが運行する 帰りは親御さんのお迎え

「移動する生徒の管理」

- ・基本的には事前(1か月前)に他校への参加不参加を取っておく ※これは生徒の管理とバス運行の管理のため
 - ・バスの乗車下車時には送り手と受け手で名簿と照らし合わせて確認作業をする
- ※名簿の確認作業と突発的な連絡交換だけなので先生の負担は低い

「地域指導者・顧問の在り方」

- ・地域指導者は毎週1回17時～所属拠点校の練習に参加
 - ・顧問も同様に週1回の部活動指導→負担は1日のみ
 - ・指導者によっては他の拠点でも情報交換や指導などで気軽に参加
- ※担当日でなければ基本的には不参加→負担は1日のみ

「地域スポーツチームの在り方」

- ・各エキスパートコーチはだいたい地域のスポーツチームのコーチをしているので、自分の地域が拠点校とならない日により高度な技術練習指導の場として活動できる
- ・生徒は自分の地域のスポーツチームに不満があれば他校のコーチから指導を受けられる選択肢を得られる。

「合同練習の在り方」

- ・週に一回もしくは2週に一回のペースで合同練習会を開催
- ・生徒間の幅広い交流の場になり、刺激を受けれる場になる

以上が提案になります。

この提案にも多くの懸念と検討事項があります。

- ①そもそもバスが運行できなければ無理
- ②毎日に回すので移動が大変
- ③生徒の管理をシステム化するまでかなり大変
- ④週2回の部活動+クラブ活動の子と週2回の部活動の子で差が大きくなりやすい
- ⑤④の場合 子どもの不和の原因になる可能性あり(現状、部活動所属の子がクラブ活動に来ないと「やる気ない」と言われている様を見ます) など。

しかしながらコーチや生徒、先生の負担を考えればまだ検討の価値があるように思えます。全てにおいて大切なのは「先生の負担を減らす」ことではなく「部活動に関わる負担を減らす」ことです。そのうえで競技人口を減らさず、成績も今以上にする提案がいま求められていることです。

ご検討のほどよろしくお願いたします。

④ 進め方に関すること

<ul style="list-style-type: none"> 示して頂いた拠点校化は理想的な形だなどはと思いますが、現在の形とかなり違いがあり、3年後の実現には、多くの混乱と反発が予想されます。拠点校化を本当に実現させるんだというなら応援しますので、小3と小1の保護者としては、どの中学校に何の部活動が残るのか、早めに知りたいです。(動画では今年度中に決定、周知とありました。大変な道すじだと思いますが、今年度中に知れるのは大変ありがたいです。) 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 拠点校を決めるのは、実施4年前からでないで、拠点校に入学しなかった子供たちが、途中から活動場所を変えたり、転校を余儀なくされたりする恐れがある。中3になったときに変えられても困る。拠点校を決める際、指導者の奪い合いにならないとよいが・・・。 	(50代・学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> もっと前にやらなければいけない議題。遅すぎる感は否めない。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> いずれ拠点校化にならざるを得ないかと思いますが、しばらく現状のままの方がいいかと思います。また、転校せずに他校で部活をやる選択肢も必要かと思います。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 地域を跨いで子どもが通学することは非現実的です。共働きの家庭はほぼ無理ではないでしょうか。また、地域の学校に通い、郷土愛を育てることは部活以上に大切だと思います。福野なら福野愛を育てたい。私の周囲では、部活動拠点校化に賛成の意見を誰からも聞いたことがありません。本当に必要なのか改めて検討していただけないでしょうか。心よりお願い申し上げます。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 先ず「南砺市全体でどうするかを考える」「受益者の意見を聞く」事が当たり前です。先ず「旧体制を保持する」「そのための穴埋めを市全体で考える」では、南砺市全体の事を全く考えていない。 	(40代・保護者、学校関係者)

⑤ 意見聴取に関すること

<ul style="list-style-type: none"> 出来るだけ子ども達本人の希望をきいて引き出してあげてください。特に小学生は将来の事を具体的に描くことが難しく、保護者や先生など身近な大人の意見に寄ってしまう傾向があると思うので、自分の未来像として自分で考える事が出来るように指導して頂きたいです。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 児童(小学生は高学年以上程度)と中学生全員から意見を聞いてほしい。タブレットを利用すればしないの子どもの意見を把握できるのではないのでしょうか。子どもの意見を大切にしていきたい。⇒出た意見は是非公開していただきたい。今回の部活動拠点校化の話は降って湧いたような突然の話に思える。以前から子ども、保護者、市民などから要望があったのでしょうか。 	(40代・保護者)

⑥ 団体組織・指導者に関すること

<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在もソフトボールなど越境入学で競技を続けている生徒は何人かいる。拠点化されても当該校(部活動がある学校)を選ぶ生徒は多少はいると思う。が、実際は入部(入学)を諦める生徒が大半と思われます。部活動はあくまでも生徒が主体です、競技の継続は地域クラブでとえます。難しい問題です。 	(50代・指導者、団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中途半端な拠点校を推進するよりも、中体連など上位大会へ出場するチームを、学校代表でなくせば良い。早い段階でのスポーツエリート化につながるが、部活と試合・大会を切り離す方が良い。 	(50代・学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧問の先生方、外部コーチの方々には、いつも大変お世話になっております。外部コーチは学校の先生ではないので、生徒への対応が教育的ではないことが現在不満であり、問題点です。技術技能指導力はあるても、コーチング力がない場合、学校の活動であるはずの部活動で、生徒・保護者は大変な思いをしています。外部指導者に辞めていただいたり、別の方に代わっていただくための手続きが、保護者にも分かるようにしていただきたいです。保護者の力で指導者を探せない前提でのお話です。 	(40代・保護者、学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動の減少はやむを得ません。その他で多様な部活担当顧問の設定。中体連の柔軟な対応。地元の部活を中学から初心者で始める子供へのサポート強化が必要、複数のエキスパートコーチの丁寧な指導をお願いしたい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域クラブにする。 	(40代・学校関係者)

⑦ 学校の課題・働き方改革に関すること

<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の先生がたには、限られた時間を部活動に割くのではなく、授業技術の向上やご自身の資質向上に係る研修に充てていただきたい。 	(50代・学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の多忙化を解消してほしい 	(30代・学校関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生の負担は増えるというが未経験の部活動を見る先生は負担になることのほうが多いかもしれないが、部活動をやりたいという先生もいる。 	(30代・指導者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての部活動を無くしてしまえばいいとおもう。教員の働き方改革が叫ばれている現代において、部活動の指導は負担でしたか。経験のない活動を顧問として指導するのは難しい。そもそも、勤務時間内に優先すべきは学級経営や教材研究である。それらの業務を疎かにしてまで部活動を行うのはどうなのか、疑問が残る。教師は勤務時間を守ることや授業をより良くすることに集中し、部活動は地域に返すべきである。どうしても部活動の指導をしたいのであれば、希望する教員のみが行えばよい。全員が全員、部活動指導を行いたいわけではない。教員を希望する人が少ない今だからこそ、業務の大幅な削減を行う必要がある。その第一歩目が部活動ではないのか。 	(20代・学校関係者)

⑧ 調査に関すること

<ul style="list-style-type: none">それぞれの部活が現実的に運営できるために、先ずは何人の児童が必要か、その場合、南砺市全体でどれくらいの種類の部活動を持つことができるのか、出してください。	(40代・保護者、 学校関係者)
---	---------------------

⑨ その他

<ul style="list-style-type: none">内容とは関係ありませんが、YouTubeの概要欄にアンケートフォームのリンクを記載しませんか？ 動画を見ながら、動画に表示されているアンケートフォームのQRコードに飛ぶのは容易ではないです。	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none">他校の生徒との交流が広がる点ではよいと思うが、いじめや仲間外れの懸念がある。	(30代・学校関係者、保護者)
<ul style="list-style-type: none">あと、この応募フォームの「4.」にある「今のまま残し、自然消滅を持つ」という項目は消した方がよいと思います。さすがに今教えている指導者たちとこれからの子どもたち、その親御さんへ失礼極まりない項目だと思います。【お前らが続けててもこの先意味ないんだぞ】と解釈してくれと言っているようなものです。	(30代・指導者、 団体関係者、 学校関係者)